



〈新任幹部寄稿〉
着任のご挨拶

出雲労働基準監督署
署長 松田尚登

このたびの異動により、出雲労働基準監督署長を拝命いたしました松田尚登と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様には、平素から労働災害の防止を始め、労働基準行政の推進に格別の御支援・御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、最近の経済雇用情勢を見ますと、一部に改善の傾向も見られますが、公共投資の減少などから、依然として厳しい状況が続いており、当署管内でも、一昨年あたりから、解雇、賃金不払に加え、賃金不払残業等の申告・相談が目立って多くなってきております。

一方、労働災害については、長期的には減少傾向にあるものの、毎年増減を繰り返しており、建設業・製造業の災害が全体の5割を占めているほか、依然として墜落・転落、はさまれ・巻き込まれといったいわゆる在来型の災害が多く発生しております。

また、そのほか、健康管理の面では、健康診断の有所見率が当県では5割を超えて全国平均を大きく上回っており、糖尿病、高血圧症、高脂血症等の生活習慣病の拡大や、さらには過重な長時間労働による脳・心臓疾患やうつ病等の精神障害の増加も大変懸念される状況となっております。

このため、当署では、今年度は、増加する**賃金不払い残業の撲滅**を最重点に法定労働条件の履行確保対策の推進を図ることとしており、そのほか、安全と健康確保の面では、災害が多い**建設業、製造業**を中心に、引き続き**墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害の防止対策の徹底**を図るとともに、**過重労働等による健康障害の防止**のため、島根産業保健センターや出雲地域産業保健センター等と連携して、**健康診断の事後措置等の徹底**等の対策を推進してまいりたいと考えております。

以上のとおり、厳しい経済雇用情勢が続く中、労働行政が取り組むべき課題は山積しておりますが、これから、皆様とともに、そうした課題の解決に一つ一つ着実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、これまで同様、暖かい御支援・御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々の御発展を祈念いたしまして着任の御挨拶とさせていただきます。



〈新任幹部寄稿〉
着任のご挨拶

出雲警察署
署長 雪野 博

この度の人事異動によりまして、出雲警察署長を拝命しました雪野でございます。よろしくお願い申し上げます。

平素は、貴協会並びに会員の皆様方には、警察活動の各般にわたりましてご支援・ご協力を賜っておりますことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

本年4月1日出雲、平田、大社の各警察署が統廃合いたしましたして、出雲圏域の治安を守るという重大な任務を担う「**新出雲警察署**」が誕生いたしました。

近年の治安情勢は、誠に厳しいものがあります。全国的には、ひったくり、侵入窃盗、器物損壊等地域住民の身近で発生する犯罪が増加し、体感治安が非常に悪くなっております。更に、暴力団や来日不良外国人等による殺人や強盗など悪質、凶悪な犯罪が組織的、広域的に敢行されており、日常生活に不安感を増大させております。このような状況は島根県下においてもほぼ同様な現状にあります。

そうした折り、警察活動においても、地域における安心・安全を確保するためパトロールなど街頭活動を強化するとともに効率的な運用を図るために警察組織の改革を行いました。新出雲警察署においては、それまで182人体制から227人体制となり、各種事件の総括指揮を執る「捜査統括官」を新設し、更に、24時間体制で活動するパトロール隊を増強するなど組織の強化を図ったところであります。

また、旧平田署、旧大社署には、24時間体制のパトロール隊を常駐させる「広域交番」を新設して再出発したところであります。

島根県警察全体としては、『**県民の期待を実現する警察**』、～日本一治安の良い『しまね』を目指して～を運営指針とし、また、出雲警察署においては、全署員が総力をあげて『**力強い警察**』を構築し、『**地域の皆さんと共にある、親しまれる新しい警察を築きあげる**』という気概を持って職務に邁進して参ります。

交通事故の抑止、各種犯罪の防止等地域の皆さんが安全で安心して生活できる社会の実現は、地域経済の発展に重要な役割を担っておられます貴協会と警察との緊密な連携が必要不可欠であります。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、島根県建設業協会出雲支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、着任の挨拶とさせていただきます。